3P082

高エネルギー分光法による

Ba / poly(9,9-dioctylfluorene)界面電子構造の研究

(名大院理¹、名大物質国際研²) 坂井 健太郎¹、金井 要²、大内 幸雄¹、関 一 ε ¹

【序】近年、有機 EL や有機トランジスタなどの有機物質を用 いた素子が盛んに研究されている。これらの有機デバイスの性 能は各界面での電子構造や有機薄膜の膜構造などに大きく左 右される。例えば、電子構造に関しては金属のフェルミ準位と 有機物の HOMO や LUMO とのエネルギー差、すなわちホール や電子の注入障壁は小さいほうがよい。また膜構造に関しては、



図1 PFOの分子構造

例えば有機トランジスタでは結晶性の高い均一な膜の方が高性能なデバイスが得られると 考えられている。よって有機デバイスの性能の向上には、界面での電子構造や膜構造を知 り、それらを制御することが必要である。現在有機デバイスに応用が期待されている物質 には低分子材料と高分子材料があるが、高分子材料はスピンコーティング法やインクジェ ット法などの真空環境を必要としない溶液過程で有機薄膜を作製することが可能なため、 工業応用において注目されている。本講演では、()その代表的な機能性高分子である poly(9,9-dioctylfluorene)(PFO)の金基板に対する配向性、()高い電子注入効率が得られ ることが報告されている Ba 電極[1]との界面電子構造を、光電子分光法 (UPS、XPS)、逆光 電子分光法 (IPES)、及び軟 X 線吸収微細構造 (NEXAFS)を用いて調べた結果について報 告する。

【実験】PFO 薄膜は金基板上にスピンコートし作製した。薄膜を作製してから超高真空チャンバーに導入するまでの過程はすべて窒素雰囲気下で行った。Ba 薄膜は真空蒸着法により作製した。Baの蒸着時の真空度は~1×10⁻⁵ Pa、測定時の真空度は~1×10⁻⁸ Pa である。

【結果と考察】() PFO 分子の金基板に対する配向について

図 2 に金基板上にスピンコートした PFO 薄膜の C K-edge NEXAFS スペクトルの X 線の入射角依存性を示す。X 線 の入射角を変化させると、各スペクトルでの π*と σ*の強 度比が大きく変化していることがわかる。図 3 は本研究か ら得られた各 X 線入射角に対する π*のピーク強度と、そ の理論曲線[2]をプロットしたものである。これらの結果か ら PFO 分子のフェニル基の金基板に対する平均的な配向 は、金基板表面からおよそ 45°傾いて配向していることが わかった。



図 2 C K-edge NEXAFS スペクトル

() Ba / F8 界面電子構造について

図4にBaの各蒸着段階におけるBa3d軌道のXPS スペクトルを示す。図中の数字はBaの蒸着量の目 安として、XPS測定の結果から見積もったPFOの 繰り返しユニットに対するBaの原子数であり、一 番上のスペクトルはSi基板上に蒸着したBa(40 nm)のスペクトルである。781 eV、796 eV付近に 注目すると蒸着量が2.1を越えたころから新しい ピークが出現し始めていることがわかる。このピ ークはBaのプラズモン励起に関するサテライトピ ーク[3]であり、Baが凝集し始めたことを示している。



よって PFO 薄膜に Ba を蒸着すると蒸着の初期段階ではすぐに Ba は凝集せず、PFO 薄膜中 へ拡散していると考えられる。図 5 は Ba の各蒸着段階における UPS-IPES スペクトルであ る。図 5 から、PFO 薄膜上に Ba を蒸着するとバンドギャップ内に新しい準位が生成してい ることがわかる。この新しい準位は膜中へ拡散した Ba から PFO 分子に電子移動が起こった 結果生成したバイポーラロンの準位であると考えられる。

以上の結果から、電極界面において拡散した Ba によるドーピングの効果があることがわ かる。このドーピングによって新たにバイポーラロン準位がフェルミ準位近傍のバンドギ ャップ内に生成するため、Ba 電極からの電子注入障壁を劇的に小さくする働きがあると考 えられ、Ba 電極が高い電子注入特性を示す一因となっていると考えられる。発表では他の XPS の結果も示して Ba / PFO 界面電子構造に関してより詳細な議論を行う。



[1] P. J. Brewer et al., Phys. Rev. B 2005, 71, 205209.

[2] J. Stöhr, "NEXAFS Spectroscopy" Springer-Verlag 1992

[3] J. A. Leiro et al., Phys. Rev. B 1985, 31, 8248.